

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : EzCyto LDH Cytotoxicity Kit
LDH Reagent I
LDH Reagent II
LDH Positive Control
Resazurin reagent

製品コード : WSE-7620

会社情報

会社名 : アトー株式会社
住所 : 111-0041 東京都台東区元浅草 3-2-2
担当部門 : 本社 顧客部 電脳網情報グループ
電話番号 : 03-5827-4861
ファックス番号 : 03-5827-6647
緊急連絡先 : 03-5827-4871
使用用途 : 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: なし
ラベル要素: なし
注意喚起語: なし
危険有害性を表す絵表示: なし
健康危険有害性: 危険有害性でない
環境危険有害性: 危険有害性でない
危険有害性情報: 該当せず
注意書き: 該当せず
その他の危険性: 該当せず

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物

LDH Reagent I				
成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
L-乳酸リチウム	1%>	CH ₃ CH(OH)COOLi	-	27848-80-2
LDH Reagent II				
成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
β-ニコチンアミドアデニンジヌクレチド (酸化型)	1%>	C ₂₁ H ₂₇ N ₇ O ₁₄ P ₂	-	53-84-9
LDH Positive Control				
成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
乳酸脱水素酵素 (組換え型LDH、ウサギ筋肉由来)	0.3%>	-	-	9001-60-9
Resazurin reagent				
成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパンジオール	10%>	C ₄ H ₁₁ NO ₃	2-(4)-1356	77-86-1

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、十分にうがいをさせる。医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で石鹼を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡、乾燥砂、水 (噴霧)
- 火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム (またはガス) が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
- 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を絶ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず保護具を着用し、状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏洩した場所

の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、
粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を
退避させる。

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう
に注意する。汚染された廃液が適切に処理されずに環境へ排出しない
ように注意する。

回収・中和 : 火気厳禁とし、ウェス、減圧等の方法で吸収させて空容器に回収し、
そのあとを多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具
を着用する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避け
る。

人体への接触に対して十分に配慮する。接触防止のため、保護眼
鏡、保護手袋等の保護具を着用する。取り扱った後は石鹼などを用
いてよく洗う。

注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与えまたは引きずる等の乱暴な扱
いをしない。

漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気やミストを発生させない。
使用後は容器を密封する。

取り扱い後は手、顔、等をよく洗い、うがいを励行する。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。

安全取扱注意事項 : 吸い込んだり、目、皮膚、および衣類に触れないように、適切な保
護具を着用する。

屋内作業場における取り扱い場所では局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件 : 直射日光が当たらないように暗所に保管する。密栓して空気との
接触を避ける。可燃物を近くに置かない。

技術的対策 : 換気の良い場所で容器を密栓して保管する。火源の近くに保管し
ない。

安全な容器包装材料 : ポリプロピレン、ポリエチレン、ガラス
堅牢で不活性な材質の容器を用いる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所的排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度、作業環境評価基準

: 設定されていない

許容濃度

ACGIH TLV(s) : 設定されていない

日本産業衛生学会 : 設定されていない

生物学的暴露指標 : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 液体

色 : データなし

臭い : なし

pH : データなし

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点 : データなし

沸騰範囲 : データなし

融点 : データなし

引火点 : なし

発火点 : データなし

爆発特性 : なし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

密度 : データなし

溶解性 : データなし
オクタノール/水分配係数 : データなし
その他データ : なし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱い条件下では安定である。
反応性 : 常温で特に危険な反応性はない。
避けるべき条件 : 日光、熱、スパーク、静電気、その他発火源
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 : 知見なし
局所効果 : 知見なし

12. 環境影響情報

移動性 : データなし
残留性/分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
生態毒性 : データなし
環境基準 : データなし

13. 廃棄上注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託する。
汚染容器・包装 : 多量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制
国連分類



陰物輸送規則(ADR、IMDG、IATA):対象外
輸送時は最新の法規制および輸送事業者の基準を確認すること。

国内規制

- 陸上 :なし
- 海上 :なし
- 航空 :なし
- 国際規制 :なし
- 国内規制 :なし

輸送の特定の安全対策及び条件

:輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適応法令

- 化学物質管理促進法 :非該当
- 労働安全衛生法 :非該当
- 毒物及び劇物取締法 :非該当
- 化審法 :非該当
- 消防法 :非該当
- 航空法 :非該当
- その他法律 :特になし

1. 製品及び会社情報

製品名 : EzCyto LDH Cytotoxicity Kit
Lysis solution

製品コード : WSE-7620

会社名 : アトー株式会社
住所 : 111-0041 東京都台東区元浅草 3-2-2
担当部門 : 本社 顧客部 電脳網情報グループ
電話番号 : 03-5827-4861
ファックス番号 : 03-5827-6647
緊急連絡先 : 03-5827-4871
使用用途 : 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 眼に対する重篤な損傷性:区分 2
水生環境有害性(慢性):区分 3

GHS ラベル要素 :



注意喚起後 : 警告

危険有害性情報 : H318 重篤な眼の損傷
H411 長期継続的影響により水生生物に毒性
H402 水生生物に有害

注意書き

安全対策

- P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡又は保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合

- P301+P312 飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師又は中毒情報センターに連絡すること。
- P330 口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合

P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察又は手当てを受けること。

P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合

P305+P351+P338 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。

P310 直ちに医師又は中毒情報センターに連絡すること。

保管

P403+P233: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

直射日光、高温及び強酸化剤を避けて保管すること。

廃棄

P501 内容物及び容器は、国、都道府県及び市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物

LDH Lysis solution				
成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ポリオキシエチレン(10)オクチルフェニルエーテル	22%	-	(7)-172	9002-93-1

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気の場所に移動させ、安静にする。呼吸が困難な場合は酸素吸入を行い、呼吸が停止している場合は人工呼吸を実施する。症状が続く場合は医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類及び靴を直ちに脱ぎ、多量の水と石けんで十分に洗浄する。皮膚刺激が生じた場合又は持続する場合は医師の診察を受ける。

眼に入った場合: 直ちに多量の流水で 15 分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は取り外し、その後も洗浄を続ける。直ちに眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合: 口をよくすすぐ。無理に吐かせない。意識のない者には何も与えない。直ちに医師又は中毒情報センターに連絡し、診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状:

- 眼: 強い刺激、発赤、痛み、流涙、角膜損傷
- 皮膚: 刺激、発赤、乾燥
- 吸入: 咳、咽頭刺激、呼吸器不快感

- 経口摂取:吐き気、嘔吐、腹痛、下痢

医師に対する特別な注意事項: 特異的な解毒剤は知られていない。症状に応じた対症療法を行うこと。重篤な眼刺激又は経口摂取の場合は十分な経過観察を行うこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 現場状況と周囲の環境に適した消化方法を行うこと
- 火災時の特有危険有害性: 火災時には熱分解により、一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO₂)及びその他の有害なガス・煙霧を発生するおそれがある。
- 密閉容器は加熱により内圧が上昇し、破裂するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 利用可能な情報はない
- 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず保護具を着用し、状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
- : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された廃液が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化方法 : 乾燥砂・土・おがくず・ウェス等の方法で吸収させて空容器に回収する。作業の際には必ず保護具を着用する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 眼、皮膚及び衣類との接触を避ける。
- : ミスト又はエアロゾルの発生及び吸入を避ける。
- 局所排気・全体換気 : 通常の実験室環境では適切な換気を行う。
- : ミストが発生する場合は局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項	: 飲み込み、吸入及び接触を避けること。 使用中は飲食、喫煙をしないこと。 容器は使用後速やかに密閉すること。 取扱い時には環境中への放出を避けること。
保管	
安全な保管条件	: 容器を密閉し、換気の良い場所に保管する。 直射日光、高温及び凍結を避ける。 強酸化剤との接触を避ける。 食品、飲料及び飼料と区別して保管する。
安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン又はガラス製容器を使用する。 使用後は密栓して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱場所には洗眼設備及び安全シャワーを設置する。 十分な換気を行う。ミスト又はエアロゾルが発生する場合は局所排気装置を使用する。
管理濃度、作業環境評価基準	: 設定されていない
許容濃度	
ACGIH TLV(s)	: 設定されていない
日本産業衛生学会	: 設定されていない
生物学的暴露指標	: 設定されていない
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	: 液体
色	: 透明
臭い	: データなし

pH : データなし

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点 : データなし

沸騰範囲 : データなし

融点 : データなし

引火点 : なし

発火点 : データなし

爆発特性 : なし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

密度 : データなし

溶解性 : データなし

オクタノール/水分配係数

: データなし

その他データ : なし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常取り扱い条件下では安定である。

強酸化剤と接触すると反応するおそれがある。

反応性 : 常温で特に危険な反応性はない。

強酸化剤との接触により発熱又は分解が生じる可能性がある。

避けるべき条件 : 高温、日光、凍結、ミスト発生

混触危険物質 : 強酸化剤、強酸、強アルカリ

危険有害な分解生成物 : 熱分解により有毒ガス発生の恐れがある

11. 有害性情報

急性毒性 : 知見なし

局所効果 : 知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性 : 水生生物に対して有害性を有する。

長期継続的影響により水生生物に悪影響を及ぼすおそれがある。

河川、湖沼及び排水系への流出を防止すること。

移動性 : データなし

残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
生態毒性	: データなし
環境基準	: データなし

13. 廃棄上注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託する。
汚染容器・包装	: 多量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 (UN)	: 該当しない
国連番号 (UN No.)	: 該当しない
品名 (Proper Shipping Name)	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない

国内規制

- 陸上輸送: 関係法令に従うこと。
- 海上輸送: 船舶安全法に従うこと。
- 航空輸送: 航空法に従うこと。

輸送時の注意事項

- 容器の破損、漏れがないことを確認する。
- 容器を密閉し、転倒、落下及び損傷を防止する。
- 食品、飼料等と混載しない。
- 高温、直射日光及び凍結を避けて輸送する。
- 輸送中に容器からの漏出がないよう適切に梱包する。

15. 適応法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2) 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第2号～
---------	---

第3号、安衛則第30条別表第2)名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が8のものに限る。)(管理番号 : 408)(11%)

毒物及び劇物取締法	: 非該当
化審法	: 1-422
消防法	: 非該当
航空法	: 非該当
その他法律	: 海洋汚染防止法 : 有害でない物質(施行令別表第1の2)

16. その他

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の実施を想定したものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施してください。

また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

1. 製品及び会社情報

製品名 : EzCyto LDH Cytotoxicity Kit
Stop solution

製品コード : WSE-7620

会社情報

会社名 : アトー株式会社
住所 : 111-0041 東京都台東区元浅草 3-2-2
担当部門 : 本社 顧客部 電腦網情報グループ
電話番号 : 03-5827-4861
ファックス番号 : 03-5827-6647
緊急連絡先 : 03-5827-4871
使用用途 : 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分3
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 区分1
重篤な眼の損傷 区分1

GHS ラベル要素 :



注意喚起後 : 危険

危険有害性情報 : H331 吸入すると有毒
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H318 重篤な眼の損傷

注意書き:

安全対策

P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクト

レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310 直ちに医師に連絡すること。

保管

P403+P233: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を国または地方自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物

LDH Stop solution				
成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
りん酸	10%>	H3O4P	1-422	7364-38-2

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動させる。
吸が困難な場合は安静にし、必要に応じて医師の診察を受ける。
症状が続く場合は医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類および靴を直ちに脱がせる。
多量の水で十分に洗い流す。
皮膚刺激が続く場合は医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の清浄な流水で 15 分以上洗眼する。
コンタクトレンズを着用している場合は、容易に外せるときは外し、その後も洗浄を続ける。
直ちに眼科医の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 口をよくすすぐ。
無理に吐かせない。
意識がある場合は少量の水を飲ませる。
直ちに医師の診察を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 対症療法を行う。
粘膜や消化器への刺激・損傷の有無を確認する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 現場状況と周囲の環境に適した消化方法を行うこと

火災時の特有危険有害性: 本製品自体は不燃性である。

火災時の加熱により刺激性または有害なリン酸ミスト、リン酸化物などが発生するおそれがある。

金属との接触により可燃性の水素ガスを発生する場合がある。

特有の消火方法 : 利用可能な情報はない

消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず保護具を着用し、状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 関係者以外の立入りを制限する。

作業時は保護手袋、保護眼鏡、必要に応じて保護衣を着用する。

漏洩物との接触およびミストの吸入を避ける。

十分な換気を行う。

環境に対する注意事項 : 河川、下水道、排水溝、土壌への流出を防止する。

大量流出の場合は関係機関へ連絡する。

封じ込め及び浄化方法 : 乾燥砂・土・おがくず・ウェス等の方法で吸収させて空容器に回収する。作業の際には必ず保護具を着用する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 眼、皮膚および衣類との接触を避けること。

ミストの吸入を避けること。

洗眼設備および安全シャワーを設置することが望ましい。

適切な保護具(保護眼鏡、保護手袋、保護衣等)を着用すること。

注意事項 : 容器の転倒、落下、衝撃を避けること。

使用後は容器を密閉すること。

取扱い後は手、顔等を十分に洗浄すること。

作業中は飲食、喫煙をしないこと。

アルカリ性物質との接触を避けること

接触回避 : 強アルカリ、強酸化剤、活性金属類

保管

適切な保管条件 : 冷暗所に保管する。密栓して空気との接触を避ける。

アルカリ性物質や反応性物質と離して保管すること。

安全な容器包装材料 : ポリプロピレン、ポリエチレン、フッ素樹脂

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱い場所には局所排気装置または全体換気設備を設置すること。
眼および身体への接触を防止するため、洗眼設備および安全シャワー
を設置することが望ましい。
ミストが発生する場合は適切な換気を行うこと。

管理濃度、作業環境評価基準

: 設定されていない

許容濃度

ACGIH TLV-TWA (リン酸として) : 1 mg/m³

ACGIH TLV-STEL (リン酸として) : 3 mg/m³

日本産業衛生学会 : 設定されていない

生物学的暴露指標 : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 液体

色 : 透明

臭い : データなし

pH : 約 1.3~1.8 (25℃)

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点 : データなし

沸騰範囲 : データなし

融点 : データなし

引火点 : なし

発火点 : データなし

爆発特性	: なし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度	: データなし
溶解性	: データなし
オクタノール/水分配係数	
	: データなし
その他データ	: なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の手扱い条件下では安定である。
反応性	: 通常の手扱いおよび保管条件下では反応性は低い。
避けるべき条件	: 日光、熱、光、アルカリ物質、金属及び金属イオン、強酸化剤
危険有害な分解生成物	: リン酸化合物、リン酸ミスト、リン酸酸化物などの刺激性ガス

11. 有害性情報

急性毒性	: 知見なし
局所効果	: 知見なし

12. 環境影響情報

移動性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
生態毒性	: データなし
環境基準	: データなし

13. 廃棄上注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託する。
汚染容器・包装	: 多量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

陰物輸送規則(ADR、IMDG、IATA) : 対象外

輸送時は最新の法規制および輸送事業者の基準を確認すること。

国内規制

陸上 : なし

海上 : なし

航空 : なし

輸送の特定の安全対策及び条件

: 容器の破損、転倒、落下がないよう確実に固定すること。

容器の密栓を確認し、漏れのない状態で輸送すること。

酸と反応する物質(アルカリ類、活性金属等)との混載を避けること。

高温、直射日光および凍結を避けること。

輸送中に容器が損傷した場合は、適切な保護具を着用して漏洩防止措置を講じること。

15. 適応法令

化学物質管理促進法 : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 No.618)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化審法 : 1-422

消防法 : 非該当

航空法 : 腐食性物質(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)

その他法律 : 海洋汚染防止法 施行令別表第 1 有害液体物質 Z 類物質

16. その他

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施してください。

製品名 : EzCyto LDH cytotoxicity kit (WSE-7620)

作成日 : 2026/06/30



会社名 : アトー株式会社

改定日 :

管理番号 : A0082

ページ 20/20

また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。